

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 別福会	代表者	高司 信太郎	法人・事業所の特徴	別府市の南端にあり、海、山も近く自然豊かな環境下、ご利用者様に「寄り添い」ながら自立支援と地域連携を進めながら「楽しい時」を過ごしていただく努力をしています。
事業所名	小規模多機能型居宅介護 両郡橋事業所 福祉の森	管理者	貞山 智絵		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	3人	2人	人	人	1人	人	3人	人	10人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	継続して職員間のコミュニケーションを密に図り、情報共有と更なるスキルアップを計画的に行う。	コロナ状況に合わせミーティングや研修が中止となることが多かったがコミュニケーションを密に取り情報共有を図ることはできた。	回答数にバラツキがある理由が「新人職員がいるため」等のメモでよくわかった。	状況に応じて可能な限り密な情報共有とスキルアップに取り組む。
B. 事業所のしつらえ・環境	コロナ状況に合わせ、感染対策と可能な限り事業所を地域に開き立ち寄りやすい事業所を目指す。	コロナ状況により入館制限等、地域に開くことは難しかった。移動販売等事業所外で地域に開く事は継続できている。	コロナ状況が増加と減少を繰り返す中入館制限等の目安はどうするか。	継続して、感染対策と可能な限り事業所を地域に開き立ち寄りやすい事業所を目指す。
C. 事業所と地域のかかわり	継続して行事等積極的に参加し、地域との絆を深めて行く。	交通安全運動、花の植え替え、盆踊り等の行事に積極的に参加した。	特になし	状況に応じて可能な限り行事等積極的に参加し、地域との絆を深めて行く。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	継続して地域の相談等に民生委員、児童委員等と協力して対応に取り組む。	対象の事案がなかった。また、コロナ感染予防として地域の行事に利用者が参加することは出来なかった。	特になし	必要に応じて地域の相談等に民生委員、児童委員等と協力して対応に取り組む。
E. 運営推進会議を活かした取組み	継続して事業所の取組みが推進会議を通して地域に理解していただける様に情報を発信していく。	広報誌等可能な限りの情報発信は行えた。	運営推進会議が双方の意見交換の場になっている。	継続して事業所の取組みが推進会議を通して地域に理解していただける様に情報を発信していく。
F. 事業所の防災・災害対策	コロナ状況に合わせ可能な限り地域との避難訓練等積極的に行うと共に職員個人の意識を高める。	系列事業所でのコロナ感染と重なり避難訓練に参加することが出来なかった。	事業所を頼りにしている。	継続してコロナ状況に合わせ可能な限り地域との避難訓練等積極的に行うと共に職員個人の意識を高める。